



現在、待望の図書交流館『いこっと』オープン（4月17日予定）に向け、社会教育課を中心に準備が進められています。その準備とは、もちろん、交流館の施設そのものの整備や新たなシステムの導入もあるわけですが、図書交流館の中心となる本は、新しく購入する本と合わせ、基本的には、相良図書館にある本を運び込むという準備があります。そこで、この機会を利用して交流館に運び込む本だけでなく、図書館にあるすべての本について、市民ボランティアの方々を中心に本の汚れ



〈市民ボランティアの消毒、修繕等の様子〉

を落としたり、痛んだ本を修繕したりする作業を進めています。しかし、市民ボランティアの方々が、毎日図書館に来て作業をしてくださっても、さすがに7万冊の消毒や本が痛んでいるかを一冊ずつ確認する作業は、時間がかかり手間取っていました。

市民ボランティアのリーダーが、相良中CS（学校運営協議会のメンバー）だったこと、さらに、校長先生の方針の中に「子どもたちを地域貢献に取り組みせたい」という考えもあったため、教育コーディネーターが学校と市民ボランティア、社会教育課（図書館担当）の間に入り、相良中学校にボランティアの話をもちかけました。

校長先生から、「図書交流館オープンに向け、助けて（協力して）ほしいというその思いを直接生徒に投げかけてみてください。」との言葉をいただき、生徒会本部、部活動代表者と話ができる場を設定してもらいました。社会教育係の担当者から、代表の生徒の皆さんに投げかけた後、担当者も私も、10名ぐらいはやってられないかなあ？」と自分の時間を地域のボランティアに費やそうという生徒が出てくることを願っていました。

数日後、図書委員会担当の大石先生から、社会教育課に電話がかかってきました。「図書委員長が、生徒全員に、冬休みに入った初日（12月28日）に、このボランティアを行いたいと皆さんの思いも伝えながら呼びかけました。正直、申し出るのは数人だと思っていたのですが、180人ほどが呼びかけにこたえてくれました。剣道場を考えていましたが、密を避けるために、体育館で、2回に分けて行いたいと思いますができますか」との返事。まさか、これほど生徒が反応してくれるなんて…!!!市民ボランティアの方々も「こんなにたくさんの生徒さんが応援してくれるんですか。興奮しちゃいますね。相中生の心意気、すごいじゃありませんか！」

当日、体育館には、前半、後半約100人ずつが集まり、5～7人のグループごとに、まずは、移動図書館ひまわり号の書棚から本をコンテナボックスに詰めて、体育館に運んではクリーニング。市民ボランティアさんたちの支援のもとに本の汚れ落とし、クリーナーによる消毒、本の中の落書きや汚れ、しみや乱丁等痛みのある本の抜き出しを、時間を惜しむように熱心におこなってくれました。誠実に取り組む相中生の姿は、たくましさ、頼もしさを感じさせてくれました。図書委員長さんから、「まだ、この作業が残るようなら、みんなも作業のやり方がわかったから、少しずつですが、昼休みにやるように呼びかけます。きっとみんなやってくれると思います！」と、涙が出るような言葉もありました。



このシミとれる？これぐらいの汚れは、いいのかなあ？厳しいチェックで確認！！



〈ひまわり号の本を運び出す様子〉



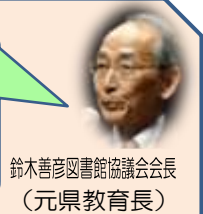
運び出された本を体育館2階へ

あんなにたくさんの生徒さんが作業してくれているのを見ると、これからの活動への力が湧いてきます。



市民ボランティアの方々

中学生の皆さんが、こんなにたくさん参加してくれ、感動しました。こんな取組、私は初めて見ました。感謝です！



さらに、相良中学校美術部の皆さんは、新館「いこっと」の利用者カードの登録者への記念品にと、意次候缶バッジ作成時のデザインを活用して、缶バッジ製作を1月からおこなってくれるとのこと。

